

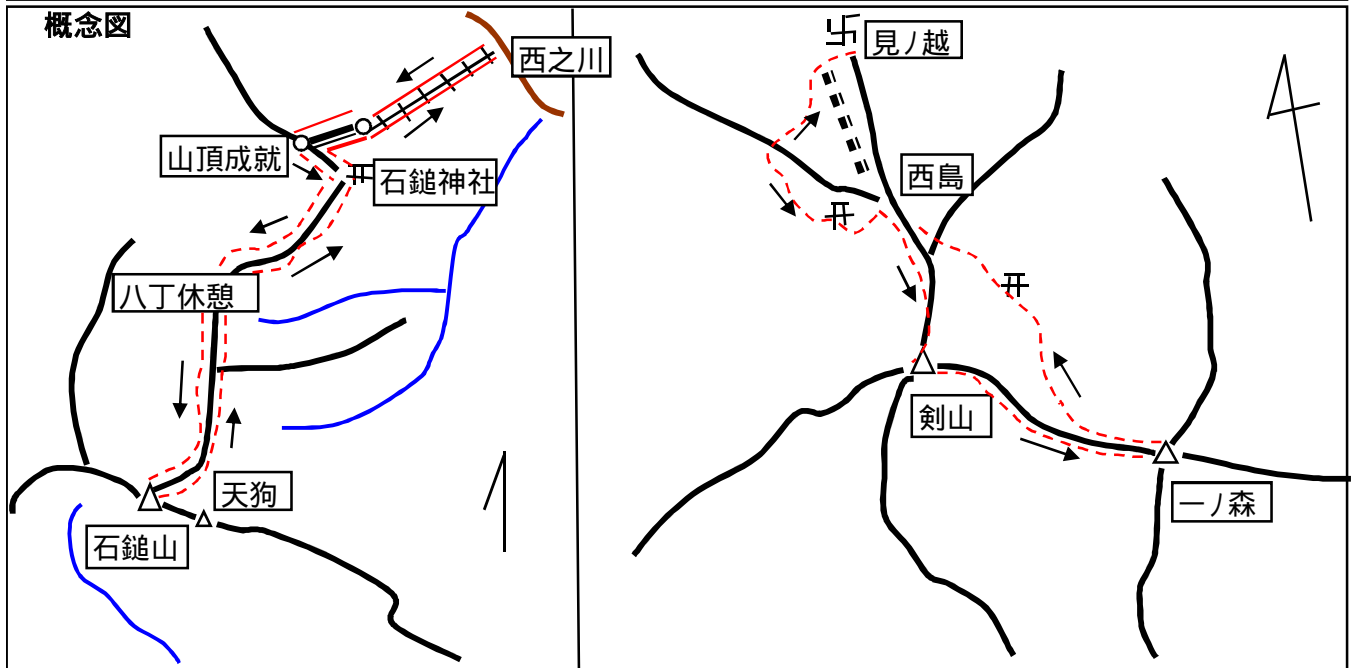
山行報告書

報告書作成

2007年6月15日

山名 [山域]	四国 剣山 石鎚山	目的と方法	早春の四国名峰探訪
登山期間	4月20日-21日	山行形態	登山口テント泊日帰り
参加人数	4名		

行動記録 4/20(土)快晴 岩津市民ホームP3:00発 = 豊田東IC = 淡路SA(朝食) = 徳島IC = 美馬IC(8:00) = 見ノ越P(9:10~9:30) --- にしじま駅 --- 剣山 (11:10~11:30) --- 一ノ森(12:30~13:00) --- 刀掛けの松(14:20~14:30) --- にしじま駅 -- 見ノ越P(15:20~15:40) = 美馬IC = SA(夕食) = 石鎚山西之川ロープウェイP19:20(テント泊) 4/21(日)曇り~雨 テントS6:00起床(朝食) -- ロープウェイ駅9:00発+++山頂成就駅9:10---石鎚神社9:40---八丁休憩所(10:10~10:20)---夜明け峠(11:00~11:10)---二ノ鎖小屋(12:00~12:15)---石鎚山 (12:45~13:00)---二ノ鎖小屋(13:20~13:40)---八丁休憩所(14:40~14:45)---石鎚神社(15:30)--山頂成就駅(16:00~16:10)+++ロープウェイ駅16:20着(石鎚)17:20発 = IC = 淡路SA(夕食) = 豊田東IC = 岡崎23:30



日誌

4月20日(土) 無風快晴の夜明け、四国までのロングドライブに出発。これで2度目、前回は天気が悪く石鎚山に登れなかったのが、今回は何とか登りたい。渋滞も無く淡路SAに着き、朝食。鳴門大橋を通るこの部分だけが通行料が高く5千くらいを払う(それでも割引が利いているらしい)。どこどこまでも車で上がり、見ノ越P到着。有吉佐和子の「天涯の花」を見るため、次は「キレンゲショウマ」の咲くときと思っていたのに、ご縁が無かったようだ。でも、素晴らしい眺めで、石鎚山や大山までも遠望でき満足。下りは北側斜面を巻いて古剣神社から刀掛ノ松に向うが、なかなかの残雪にビックリ！先週九州に降った大雪がここにも影響しているようだ。前回に見ておいた「キレンゲショウマ」の咲く場所を確認する。刀掛ノ松までくれば、ぱかぱかとして雪など何処に？という有様。天涯の花の碑を見物してPに降り途中の日帰り温泉で汗を流し(ここで初めて「ユキモチソウ」を見た)、次の目的地「石鎚山ロープウェイP」に向う。途中SAで夕食。前回もそうだったが四国のゴールデンウィークは空いていて楽だ。4月21日(日)夜間は風が強く悩まされたが、今朝の出発は遅いのでゆっくり起き出し、テントの外に出ると他には車が1台のみ。天気予報は下り坂だし、朝から悪そうなので、登山には出かけてこないのだろう。その車の4人は信仰登山なのか白装束に着替えている。あんな若い人たちが…と何だか不思議。始発のロープウェイと一緒に乗り込み、後になり先になり、とうとう降りて風呂まで一緒になったこのグループは、あのノンフィクション作家の「家田荘子」さん達だったことに皆ビックリ！年に3-4回は来るそうだ。同行のS氏は有頂天で「家田荘子にストーカーされた」と盛んに仰る。さておいて、ロープウェイに乗っているときから雨が落ち始め、八丁休憩所では、完全に雨装束になり、夜明け峠を越え、最初の鎖場を「お試し」と思って伝ったが、実は一の鎖であった。二の鎖小屋では土小屋から東稜を登ってきた人たちと情報交換し、この上の鎖場は積雪で無理と判断し、巻き道に行くことに。この巻き道も危なっかしく、急でいやらしい。完全に雪道ならばまだ良いのだが、徹梯子が出たり、雪が薄かったり、下りのアイゼンも使いにくいことこの上ない。頂上は強風と横殴りのガスの中で、隣の天狗岳は見えないし、当然行くのは中止とし、さっさと二の鎖小屋まで降りて